

実地研修（現場演習）評価票：胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下）

研修受講者氏名	
本票ページ数	/

実施手順	評価項目	評価				
		()回目	()回目	()回目	()回目	()回目
	回数	/	/	/	/	/
	月日					
	時間					
STEP4： 準備	流水と石けんで手洗い、あるいは速乾性擦式手指消毒剤で手洗いをする。					
	医師・訪問看護の指示を確認する。					
	利用者本人あるいは家族に体調を聞く。					
STEP5： 実施	利用者本人から注入の依頼を受ける。あるいは、利用者の意思を確認する。					
	必要物品、栄養剤を用意する。					
	体位を調整する。					
	注入内容を確認し、クレンメを止めてから栄養剤を注入容器に入れ、注入容器を高いところにかける。					
	クレンメをゆるめ、栄養剤を経管栄養セットのラインの先端まで流し、空気を抜く。					
	胃ろうチューブの破損や抜けがないか、固定の位置を観察する。					
	胃ろうに経管栄養セットをつなぐ。					
	クレンメをゆっくり緩めて滴下する。					
	異常がないか、確認する。					
	滴下が終了したらクレンメを閉じ、経管栄養セットのラインをはずし、カテーテルチップ型シリンジで胃ろうチューブに白湯を流す。					
体位を整える						
STEP6： 結果確認報告	後片付けを行う。					
STEP7： 記録、報告	評価票に記録する。ヒヤリハットがあれば報告する。					
アの個数 計						

* 自由記載欄

()回目	
()回目	
()回目	
()回目	
()回目	